

平成 30 年度

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

年 次 大 会 資 料

日時：平成 30 年 5 月 18 日（金） 14 時 00 分～15 時 00 分

場所：仙台市戦災復興記念館 研修室

仙台市青葉区大町二丁目 12 番 1 号

年 次 大 会 次 第

1. 年次大会議事 14 時～15 時

(1) 開会宣言

(2) 報告

①平成 29 年度活動報告

②平成 29 年度会計報告

③監査報告

④平成 30 年度活動計画（案）

⑤平成 30 年度会計予算（案）

⑥その他

(3) 閉会宣言

2. 特別講演 15 時～17 時 CPD 2 h 予定

タイトル：環境とエネルギーに関わる地質工学

—土壌汚染リスク評価とエネルギーの地産地活—

講師：土屋範芳氏（東北大学大学院環境科学研究科教授）

3. 意見交換会 17 時 00 分～19 時 00 分

場所：レストラントップ

仙台市青葉区大町二丁目 12 番 1 号

会費： 4,000 円

1. 平成 29 年度活動報告

①平成 29 年度応用理学部会年次大会および特別講演

年次大会 参加者：22 名

日時：平成 29 年 5 月 12 日(金) 14 時～15 時

会場：戦災復興記念館 4 階 研修室

特別講演：15 時～17 時 参加者 44 名

タイトル：地熱の利用：地中熱から超臨界地熱まで

講師：講師：土屋範芳氏（東北大学大学院環境科学研究科教授）

意見交換会 参加者 17 名

時間：17 時 30 分～19 時 30 分

会場：2F レストラン トップ

会費：5,000 円

②平成 29 年度研修会；参加者 38 名、意見交換会 21 名

テーマ：ILC（国際リニアエコライダー）に関する研修会

日時：平成 29 年 7 月 21 日（金）14 時～17 時 10 分

場所：日立システムズホール(仙台市青年文化センター)研修室 2

○講演Ⅰ 14 時～15 時 30 分

テーマ：「ILC 計画の概要と現状」

講師：大平 尚 氏 岩手県企画理事

○講演Ⅱ 15 時 40 分～17 時 10 分

テーマ：「ILC の概要と立地環境～北上山地花崗岩の岩盤特性～」

講師：佐貫智行氏 東北大学大学院理学研究科准教授 物理学専攻

参加費：無料（会員、非会員とも）

意見交換会：5,000 円

会場：レストランけやきの杜

③平成 29 年度現地見学会：参加者 19 名（講師 1 名含む）

テーマ：ILC（国際リニアエコライダー）に関する現場見学会

日時：平成 28 年 9 月 15 日（金）

場所：一関市～奥州市（ILC 建設予定地周辺）

案内者：佐貫智行氏 東北大学大学院理学研究科准教授 物理学専攻

会費：4,000 円（会員・非会員とも、交通費等）

④役員会 平成 29 年 4 月 14 日(金)、5 月 12 日（金）、6 月 9 日（金）、7 月 21 日（金）、8 月 18 日(金)、10 月 13 日（金）、12 月 8 日（金）、平成 30 年 2 月 9 日（金）（計 8 回、太字は技術サロン開催日）

⑤ 技術サロン：5 回開催（金曜日夕方開催）

○第一回 平成 29 年 6 月 9 日（金）18：00-20：30 参加者：14 名

- ・ 1. 丸尾知佳子 東北大学工学部・工学研究科 技術部
「環境行政における環境計測に携わって」
- ・ 2. 岡林昌宏 土木地質株式会社
「地中熱ヒートポンプシステムの応用理学」

○第二回 平成 29 年 8 月 18 日（金）18：00～20：30 参加者：12 名

- ・ 1 守屋資郎氏（A.T.S.（株））
「仙台付近の水理地質と梅田川への片思い」
- ・ 2 伊藤靖雄氏（（株）ダイヤコンサルタント）
「若手育成の現状

～技術者の技術力向上とワークライフバランスを例に」

○第三回 平成 29 年 10 月 13 日（金）18：00～20：30 参加者：15 名

- ・ 1. 桑原 里氏（東北大学院博士後期課程）
「古い時代のテフラを識別する～アパタイト微量元素を用いた
テフラの対比～」
- ・ 2. 今野隆彦氏（（有）ジオプランニング）
「ベトナム地すべりツアー報告」

○第四回 平成 29 年 12 月 8（金）18：00～20：30 参加者：10 名

- ・ 1. 市川 健氏（（株）復建技術コンサルタント）
「大規模盛土造成地滑動崩落～熊本地震（益城町）の概要～」
- ・ 2. 三上登志夫氏（（株）復建技術コンサルタント）
「大規模盛土造成地滑動崩落～熊本地震で発生した事例紹介～」

○第五回 平成 30 年 2 月 9 日（金）18：00～20：30 参加者：10 名

- ・ 1. 藤元栄一氏 東北農政局地質官
「2011 年東北地方太平洋沖地震に伴う地下水の水質変化
一宮城県亘理町・山元町の事例一」
- ・ 2. 菊地 真氏（株東北ボーリング、部会幹事）
「小規模河谷における地質モデルの作成事例」

2. 平成 29 年度会計報告

応用理学部会 平成29年度 会計決算(案)

	決 算	H29年度予算	対 比
総収入	501,653	374,653	127,000
総支出	388,483	292,500	95,983
繰越金	113,170	82,153	31,017

【収入の部】

科 目		決 算	H29年度予算	対 比	摘 要
H29年度繰越金		24,653	24,653	0	
本部交付金		100,000	100,000	0	
	小 計	124,653	124,653	0	
事業収入	年次大会	80,000	75,000	5,000	年次大会22名出席、特別講演44名、意見交換会16名参加
	見 学 会	72,000	30,000	42,000	19名参加
	技 術 サ ロ ン	82,000	50,000	32,000	5回合計82名参加
	研 修 会	143,000	95,000	48,000	38名参加、意見交換会21名参加
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	パンフレット頒布金	0	0	0	
雑収入	雑 収 入	0	0	0	銀行利息
	小 計	377,000	250,000	127,000	
総収入		501,653	374,653	127,000	

【支出の部】

科 目		決 算	H29年度予算	対 比	摘 要
事業費	年次大会	112,444	95,000	17,444	往復ハガキ、講演謝礼、意見交換会
	見 学 会	55,067	20,000	35,067	9月15日実施
	技 術 サ ロ ン	77,932	52,000	25,932	5回開催、会場費、軽食代ほか
	研 修 会	128,300	97,500	30,800	7/21開催、謝礼、会場費、懇親会
	地震防災WG活動	0	5,000	△ 5,000	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	小 計	373,743	269,500	104,243	
管理費	会 議 費	1,360	6,000	△ 4,640	役員会会場費
	通 信 費	13,380	16,000	△ 2,620	
	事 務 雑 費	0	1,000	△ 1,000	
	予 備 費	0	0	0	
	小 計	14,740	23,000	△ 8,260	
総支出		388,483	292,500	95,983	

注) 対比は予算を基準として示した。

対比＝（決算）－（予算） マイナスは△で表示

3. 監査報告

監 査 報 告 書

平成29年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

平成30年4月7日

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

監事 新沼正彦 

4 . 平成 30 年度 活動計画 (案)

① 平成 30 年度 年次大会および特別講演

日時：平成 30 年 5 月 18 日 (金) 14 時 00 分～17 時 00 分

場所：仙台市戦災復興記念館 研修室

仙台市青葉区大町二丁目 12 番 1 号

○年次大会 14 時～15 時

○特別講演 15 時～17 時

タイトル：環境とエネルギーに関わる地質工学

—土壌汚染リスク評価とエネルギーの地産地活—

講師：土屋範芳氏 (東北大学大学院環境科学研究科教授)

○意見交換会

時間：17 時 00 分～19 時 00 分

会場：レストラントップ

仙台市青葉区大町二丁目 12 番 1 号

会費：4,000 円

② 平成 30 年度研修会

テーマ：Study Nature, not Books. ～書を抱いて、野に出でよ！～

日時：平成 30 年 7 月 13 日 (金) 15 時～17 時

場所：日立システムズホール仙台 (仙台市青年文化センター) 研修室 2

講師：永広昌之氏 (東北大学名誉教授、東北大学自然史標本館協力

研究員)

意見交換会：参加費 5,000 円

会場：レストランけやきの杜

③ 平成 30 年度現地見学会

日時：平成 30 年 9 月 14 日 (金) ～15 日 (土)

場所：(仮)宮城県内の主要ダムと成瀬ダム建設現場の見学

案内：菅原 捷氏、国土交通省成瀬ダム工事事務所

④ 役員会

平成 30 年 4 月 6 日 (金)、5 月 18 日 (金)、**6 月 8 日 (金)**、7 月 13 日 (金)、

8 月 24 日 (金)、**10 月 12 日 (金)**、**12 月 14 日 (金)**、2 月 8 日 (金)

(太字は技術サロン開催予定日)

⑤地震防災 WG

特定非営利活動法人防災・減災サポートセンターと協力して活動

⑥技術サロン：4 回開催・・・会場：日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）他の公共施設

6 月～12 月隔月第 2 または第 3 金曜日；18：00～20：30

会費 1000 円/回

開催予定月日；**6/8**, 8/24, 10/12, 12/14

5. 平成30年度 会計予算（案）

応用理学部会 平成30年度 会計予算（案）

	H30年度予算	H29年度決算	対比
総収入	798,170	501,653	296,517
総支出	696,400	388,483	307,917
繰越金	101,770	113,170	△ 11,400

【収入の部】

科目		H30年度予算	H29年度決算	対比	摘 要
前年度繰越金		113,170	24,653	88,517	
本部交付金	本部交付金	100,000	100,000	0	
	小計	213,170	124,653	88,517	
事業収入	年次大会	80,000	80,000	0	意見交換会20名
	見学会	300,000	72,000	228,000	1泊2日
	技術サロン	65,000	82,000	△ 17,000	4回開催、会費1000円
	研修会	140,000	143,000	△ 3,000	40名、意見交換会20名
	地震防災WG活動	0	0	0	
雑収入	雑収入	0	0	0	
	小計	585,000	377,000	208,000	
総収入		798,170	501,653	296,517	

【支出の部】

科目		H30年度予算	H29年度決算	対比	摘 要
事業費	年次大会	114,000	112,444	1,556	謝礼、案内はがきほか
	見学会	290,000	55,067	234,933	資料代、保険ほか
	技術サロン	64,400	77,932	△ 13,532	4回開催、会場費ほか
	研修会	130,000	128,300	1,700	会場費、意見交換会
	地震防災WG活動	5,000	0	5,000	
	プロジェクト購入費	70,000	0	70,000	技術サロン、研修会等を使用
	小計	673,400	373,743	299,657	
管理費	会議費	6,000	1,360	4,640	役員会会場費
	通信費	16,000	13,380	2,620	HP管理費、郵送料ほか
	事務雑費	1,000	0	1,000	
	予備費	0	0	0	
	小計	23,000	14,740	8,260	
総支出		696,400	388,483	307,917	

公益社団法人日本技術士会 東北本部 応用理学部会 規約

平成 15 年 4 月 11 日制定

平成 17 年 6 月 10 日改正

平成 18 年 5 月 12 日改正

平成 20 年 5 月 8 日改正

平成 25 年 5 月 16 日改正

平成 26 年 5 月 9 日改正

第 1 条 名 称

本部会は「公益社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北本部 応用理学部会」(略称「東北 応用理学部会」と称する。

第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員の任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

第 5 条 役員の選任

1. 部会長は、部会年次大会において選任し、本部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、年次大会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、年次大会に報告する。

4. 監事は部会長が推薦し、年次大会で承認を得る。

第6条 役員の任務

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北本部の役員会で部会に関する意見を述べることができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その任務を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する（部会員の連絡事項を含む。）
4. 監事は、部会の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べることができる。

第7条 会議の種類

本部会の会議は、年次大会、役員会とする。

第8条 年次大会

1. 年次大会は定期年次大会及び臨時大会とし部会員をもって構成し、部会長が召集する。
2. 定期年次大会は、原則として本部年次大会前に開催する。
3. 臨時大会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時大会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに臨時大会を招集しなければならない。
4. 年次大会の議長は部会長が務める。

第9条 年次大会の議事

1. 年次大会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を報告する。
 - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
 - ②年次活動計画及び予算の承認に関する事項
 - ③役員会において年次大会に付議する必要があると認めた事項
2. 年次大会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、年次大会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。

2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任された者が会議を推進することができる。
3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

第12条 部会活動

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集
4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催
5. 専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
6. 科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
7. 部会員相互の親睦を図るための行事の開催
8. 前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

第13条 会費等

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

第14条 事業年度

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。

平成 29 年度～30 年度役員（参考）

役職	氏名	所属	備考
部会長	中里俊行	(有)ジオテクノ中里産業	
副部会長	黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタンツ	岩手
副部会長	尾崎裕司	日本工営(株)	
代表幹事	今野隆彦	(有)ジオプランニング	総務
幹事	押見和義	(株)復建技術コンサルタント	
幹事	川口通世	(株)川口技術士事務所	福島
幹事	菊地 真	東北ボーリング(株)	
幹事	桜田裕之	(株)自然科学調査事務所	秋田
幹事	本田忠明	NPO 法人 防災・減災 SC	総務
幹事	森 信博	土木地質(株)	広報・記録
監事	新沼正彦	(株)測地コンサルシステム	(総務)

役職	氏名	所属	備考
顧問	佐藤一夫	NPO 法人 防災・減災 SC	
顧問	滝田良基	(株)三協技術	
顧問	谷藤允彦	新協地水(株)	